

令和5年度 授業改善推進プラン（小学校学級担任用）

福生第三小学校 第4学年2組 担任 ○○ ○○

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	8 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	93.5%	93.9%
		53 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	87.1%	80.3%
		54 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	90.3%	91.9%
	目標の達成	18 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	54.8%	66.7%
		26 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	83.9%	89.5%
	他者との協働	104 わたしは、友だちの心をきずつけることを言ったり、からかったりしていない。	90.3%	85.1%
	学力と関係が深い質問	35 自分で学習の計画を立てている。	48.4%	58.3%
		46 パソコンを使ってまとめたり発表したりできる。	67.7%	72.7%
3 本や新聞を読んでいる。		48.4%	64.0%	
領域名		学力調査の分析 ○成果 ▲課題		
国語	言葉・情報・言語文化	▲全国平均正答率を27.8ポイント下回り、(正しいローマ字の表記を選ぶ)設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	▲全国平均正答率をポイント24.9ポイント下回り、(発表に対する質問の意図を選ぶ)設問に課題がある。		
	書くこと	▲全国平均正答率を15.0ポイント下回り、(作文の下書きに見られる工夫を選ぶ)設問に課題がある。		
	読むこと	▲全国平均正答率を24.3ポイント下回り、(内容をまとめた表の空欄に入る言葉を書く)設問に課題がある。		
算数	数と計算	▲全国平均正答率を10.9ポイント下回り、(1000-3位数の減法の計算)に課題がある。		
	図形	▲全国平均正答率を9.2ポイント下回り、(角の大きさを大きい順に並べる)設問に課題がある。		
	変化と関係	▲全国平均正答率を5.5ポイント下回り、(はかりの針が指している重さを読み取る)設問に課題がある。		
	データの活用	▲全国平均正答率を12.5ポイント下回り、(票の合計を表す位置を選ぶ)設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>国語の学習に関しては、すべての項目で全国平均正答率を下回り、多くの課題が見られる。特に、『聞き取り』や『文章を書く』設問で、全国平均を大きく下回った。意識調査では、『文章の書き方の良い例を参考にして書くことがある。』が全国平均よりも低く、それが原因であると考えられる。</p> <p>算数の学習に関しても、すべての項目で全国平均正答率を下回り、多くの課題が見られる。特に記述式の応用問題が全国平均を大きく下回った。意識調査では、『文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある』が全国平均よりも低く、それが原因であると考えられる。</p>		<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く」では、読み聞かせの後に、いつ、どこで、だれが、どうした等の質問をする等、アニメーション的手法により、内容の詳細な部分やあらすじなどを深く捉えさせる習慣を身に付けさせ、『聞き取り』の能力を高めていく。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本となる1桁の四則計算が速く、正確にできるように、朝学習等で取り組ませていく。 ・基礎・基本の計算力をもとに、複雑な筆算に取り組ませていく。 ・筆算では、解き方のアルゴリズムを口唱できるまで徹底して行わせ、正確にできるようにする。 ・自分の考えの形成では、モデルを示し、アウトラインを模倣させ、型にそって、自分のなりの言葉で表現ができるように指導する。 		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童	32% (10人/31人中)	
確認テストの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童	32% (10人/31人中)	

